

災害時被害把握へのリモートセンシング技術の 適用マニュアル (案)

日下部毅明*
真田 晃宏**

Draft Manual for the application of remote sensing technologies to detect facilities damages

Takaaki KUSAKABE *
Akihiro SANADA **

概要

リモートセンシング技術は広域エリアの情報を短時間で把握することが可能な点に特徴を有することから、大規模地震時において、施設管理者・災害対応担当者が迅速に被害把握を進める上で、リモートセンシング技術が貢献できるものと考えられる。これまでのところ、災害対応実務者に対しては、このようなリモートセンシング技術の災害対応（被害把握）への適用について、具体的な手順、運用イメージ等を含め示されていないのが現状である。

そこで、本資料は、リモートセンシング技術による被害箇所の把握に関して、基本的な技術の解説から利用手順・利用イメージに至るまでを体系的なマニュアルの形としてまとめたものである。

キーワード：地震、リモートセンシング、被害把握

Synopsis

This note shows the procedure and concrete images to apply the remote sensing technologies for damage detection at a big earthquake. In addition, basic characteristics of typical remote sensing are discussed.

Key Words : earthquake, remote sensing technologies, damage detection

* 危機管理技術研究センター地震防災研究室 室長

** 同 主任研究官

* Head, Earthquake Disaster Prevention Division, Research Center for Disaster Risk Management

** Senior Researcher, Earthquake Disaster Prevention Division, Research Center for Disaster Risk Management